

49年白門会のホームページ↓

http://www7.plala.or.jp/hakumon49/

# 49年白門会

(題字・葛西 聖司)

## 50歳からの生きがい



会長 山崎厚太

卒業以来30年が過ぎました。30歳の誕生日を迎えた時と、大学を卒業してから今までと同じ30年間ですが、皆さんはどちらが長かったでしょうか。私は卒業してからの30年間はあつと言つ間の出来事のように思えます。

### 49会が生きがいの場

この間色々な人と面識を得ましたが、ほぼ全員の方が仕事絡みの人です。仕事で知り合った人は、時間が経つにつれ付き合いがなくなってきました。49会が設立されてから4年経ちます。49会を通じて面識を得た人達は時間と共に増え、そして親しくなってきました。

49会の人間関係は、共通の時代に共通の場所で学んだという分かりやすさがあります。学部・学科は違つても、同じ御茶の水や後楽園の風景・雰囲気や育まれてきます。どこかで共通点もあり、喜びや悩みも通ずるものがあるはず。49会の参加者は毎年少しずつ増加してきています。行事は毎年少しずつ増やしていきまふ。私たちの年代はまだまだ仕事が忙しい年代ですが、都合の付く限りは少しでも多く参加してください。私は会社の行事に参加する時よりも気分がリラックスして楽しかったです。仕事以外の人間

私たちが全員50代以上。会社員の人が多いので、退職という転機を迎える人も増えてきます。これからは

関係が増えることは、きっと皆さんのためにもなることと思います。さて、中央大学は、今色々と事業を展開し、そのための寄付を集めています。募集期間は2011年9月30日まで。個人は一口5万円から、毎年1万円分の分割払い可です。仕事以外の関わりの一環として参加してはいかがでしょうか。総会でおいいたしましょう。

「生きがい」ということが今まで以上に必要になると思います。「家族」「趣味」と「お金の掛からない仕事以外の人間関係」。これらが「生きがい」の上位になるのではないのでしょうか。

「ホームカミングデー」年に一度多摩校舎に行きまふ「2004年度総会」(2ページ参照)  
●7月3日(土)  
●8月7日(土)  
●10月16日(土)  
●10月24日(日)  
●11月13日(土)  
●1月29日(土)  
●4月2日(土)  
「浅倉散策」雷門からドジョウ鍋までメールでお知らせ致します。  
「納涼屋形船」午後1時浅草橋集合、4時解散会費1万円  
「映画鑑賞会」メールでお知らせ致します。  
「新年会」次号の会報でお知らせ致します。  
「花見」大学の観桜とは別に、都内の桜の名所でお花見をしまふ。近付きましたらメールでお知らせ致します。  
※ ※ ※ ※ ※  
行事は大体土曜日に行います。メールアドレスを登録されてる方には、メールでお知らせ致します。メールアドレスを登録されていない方は、直接事務局の方にお尋ねください。会報は年に2回発行のため、総会と新年会のお知らせしか会報では告知できません。メールアドレスをお持ちの方は是非メールアドレスを事務局のほうに登録してください。

## CONTENTS

- 1 ページ
  - ★50歳からの生きがい 山崎厚太
  - ★16年度の事業予定
- 2 ページ
  - ★友へのメッセージ 土田誘造
  - ★総会のお知らせ
  - ★広告募集
- 3 ページ
  - ★新年会レポート
  - ★川越散策レポート
  - ★提案!台湾への旅
- 4 ページ
  - ★楽苦我喜(らくがき) 三溝芳春
  - ★会費納入のお願い
  - ★原稿募集
  - ★編集後記

## 平成16年度の事業予定

# 友へのメッセージ

## 単身赴任もこなすもの



### 土田 誘造 (経済)

ていた。見ると私が担当していた、ある地方のスーパーバイヤーから突然空力をテストされたもので、その時の焦ったことが、昨日の出来事のように思い出された。

次に列記しますので、皆さんも昔を思い出してチョット試してみませんか。意味によって読み方が二通りあります。その読み方は何かです。

### 漢字テストにトライ!!

今現在単身赴任中である。某お菓子屋さんに勤めて10回目の転勤である。地元勤めるつもりで、卒業後新潟に戻ったが、地元勤めは研修中の2週間だけで、すぐ大阪に配属された。それから、北は仙台から南は鹿児島まで、よく動いたものである。公私含めて、訪れた地域は47都道府県に亘った。

これですべて、初任地の大阪でのことから始まる。赴任してから数カ月経った頃、京都の問屋の社長から「土田君はよく営業活動に励んでいるね。君のこのころの営業所は、君で持っているのじゃないの。できたらわが社に来てほしいけど、所長が手放さないとだろうね」といったような一言が、私の一生を決めてしまった。関西に住んだことが無い者が、生活や言葉の違う文化圏で、挫折感から田舎に帰りたいと思いかけたが、問屋社長は褒め言葉は、当時の上司の褒め言葉以上に勇気づけられた。

丘(鹿角島)の日本三、天橋

一人暮らしは、独身の時と単身赴任ではまるで違うが、これも人生かと思える年になった。普段生活する上で、なるべく荷物を少なく、尚且つ、下に荷物を置かなければ掃除がしやすくなると考えたら、2DKの部屋は閑散としてしまった。その中で、一人パソコンに向かっている時間が経つのも忘れてしまう。またラジオの英会話を始めようと思ったから、単語をすっかり忘れていた。急いで帰省時に、学生時代に使っていた英和辞典を持ってきて目的の語彙を探そうとすると、大分近眼が進んでおり、メガネ無しではすっかり見えなくなっていた。

その辞典に一枚の紙切れが挟まれ

回答は4ページに有ります。

- ① 過言・いい間違い
- ② 気骨・神経が疲れる
- ③ 牛車・牛が引く乗物
- ④ 好事・物好き
- ⑤ 身上・財産
- ⑥ 施工・実際に言う
- ⑦ 俗名・つまらない名
- ⑧ 礼拝・仏教では
- ⑨ 末期・ある区切りの終り
- ⑩ 無音・音が無い

### 広告募集

この会報を作る費用を広告収入である程度賄う予定です。広告スペースを5千円で提供しますので、協力お願い致します。原稿の版下があればそのまま使いますが、無ければ広告原稿を広報部で作成します。

お申し込み、ご相談は事務局までご連絡ください。

### 2004年度 総会のお知らせ

「49年白岡会」の2004年度の総会が開かれます。設立して満4年、いよいよ5年目に入ります。

今回は2年ごとに行われる役員改選の総会です。役員に立候補される方は6月30日までに事務局に立候補届けを出してください。

総会終了後、懇親会もありますので会員の皆様のご出席をお待ちしております。

日時・平成16年7月3日(土)  
午後3時(2時半より受付)

場所・中央大学理工学部校舎  
(東京都文京区春日1-13-27)

懇親会・午後4時~6時、同校舎  
会費は5千円です。

### 山崎司平法律事務所

第二東京弁護士会所属  
日本弁護士国民年金基金常務理事  
中大法学部非常勤講師

辯護士 山崎 司平

東京都中央区銀座3丁目10番9号 共同ビル6階  
電話 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

### 主要取扱申請書類等

- ◇ 建設業・工事入札・産廃業・宅建業
- ◇ 風俗営業・会社設立・会計帳簿作成
- ◇ 外国人在留手続・帰化・国際結婚
- ◇ 遺言書作成・遺産分割協議書作成

法律相談 申請書類作成 提出手続代行

行政書士 増田勝美 電話 03-3491-9880

# 料理と酒と歓談と…

**新年会** 2004年  
1月30日(土)

正月気分が余韻が僅かながら残る1月30日の土曜日、49年白門会の新年会が銀座「Sanimi高松」で行われた。「高松」での新年会は、3年連続となるが、過去2回は地下の個室が会場であったが、今回は7階で行われた。新春の日射しが窓を通して会場にやさしく入り込み、午後3時からのお会を「層華やかに演出してくれた。

司会進行は、昨年の総会の懇親会での軽妙な司会ぶりを買われ、小林隆宣さんをお願いした。期待通りの軽妙な口調とタイミング良い進行で気が付いてみればほぼ全員がマイクを持ってしゃべらせられていた。

参加者は40余名。4名の理工学部出身の初参加者の方をはじめ、大阪や宇都宮からの参加者もおられ、会の広がりを感じさせるものがあつた。昼間のアルコールは程よく効き、各自饒舌になり始めると、場の空気を読んだ絶妙なタイミングでマイクを向ける司会者に促されるまま、箱根駅伝からイラク自衛隊派遣まで、

近況報告あり、今後の抱負ありと多士済済の同期が、マイクを握り締め語り始めた。

歓談も一段落し、新年会恒例の福引きが始まった。今回は、自分で記入した出席カードを箱に入れ、司会者を取り上げた順に賞品がもらえるという、学生時代に戻ったようなノスタルジアを感じた。「経済学部の松平君」「はい」という感じで趣向を凝らした福引きも無事終了した。今回の賞品は「中大グッズ」で、Tシャツ、お菓子、ボールペンなど事務局が買い集めた品々でした。

お開きの直前に副会長の山崎司平さんが駆け付け、駆け付け一杯のビールを飲んで締めめのスピーチを行い校歌を斉唱してお開きとなった。

外に出ると、1月の5時は既に真つ暗。約半分の20名が「高松」から数分の所にある「ライオン」での二次会に集まった。一次会の延長で話が弾み、時の経つのも忘れてしまつた。来年も皆と元氣な姿で会いたいものです。  
(広報部・村岡 週)

## 提案！台湾への旅事業部長 増田勝美

先の学員時報によれば、学員の有志の集まりである学員日華友好会が、台湾に桜の苗木を根付かせようとする運動をしている。かつて日本の統治時代功罪いろいろのものを残して

きたが、いま桜の花を愛でながら友好親善の輪を広げていこうという。

台湾には中央大学の卒業生もおられるが、当地の国立中央大学の知名度はともかく、日本中央大学の名は

## 川越 散策

# 買い物袋を両手に!!

渡邊秀和(文)

03年11月15日(土)、西武新宿線本川越駅に10時半に参集したのは奥様を含めて9名。昨年の鎌倉散策に続いての第2回目のハイキングでした。

案内役は所沢市在住で川越に詳しい井、美知子さんに買って出て頂きました。最初から最後まで元氣一杯おしゃべり一杯で案内していただきました。



小江戸と称されている埼玉県川越市は、蔵の街として良く知られていますが、徳川家三代の家光の誕生した江戸城内の建物が喜多院に移築され現在も見ることができるところで有名です。ハイキングの順路は、本川越駅→中院→喜多院→川越城本丸御殿→時の鐘→菓子屋横丁→本川越駅という標準的なコースで市内の中心部を小さく一周しました。

喜多院では折から七五三の時期でもあり、境内では七五三の衣装をまとった親子連れが多く、子育ての終了した我々一同の目を和ませてくれました。この喜多院の一角で、各自持ち寄ったお弁当を広げ、売店からお団子を買ったりして昼食をとりました。井さんを中心に話題はあちこちに飛びながらも話の種は尽きずにゆつたりと時が過ぎて行きました。

今回のハイキングの特徴は、買い物が多かったことです。スタート時は手ぶらでしたが、解散地点の本川

越駅に着く頃には、両手に買い物袋がぶら下がっていました。中身は、井さんが紹介してくれたお店での川越特産の味噌、漬物、サツマ芋のお菓子、駄菓子などです。

午後3時半頃本川越駅に着き解散となりました。それ程長い行程ではありませんでしたが、程よく疲れて手にお土産を下げての帰宅となりました。

同期が集まると、大抵の場合飲み会が主で、酔っ払って帰宅になることが多いと思いますが、留守家庭へのお土産一杯の川越ハイキングは歓迎されたのではないのでしょうか。  
(詳しいレポートと写真はホームページに掲載しておりますので御覧ください。)

残念ながら高くはない。この学員日華友好会が国際親善と同窓生の活動支援となることを期待したい。

そんな事を思い巡らしていたら、学員日華友好会では来春植樹祭を挙行し、会外者の多くの方の参加を希望しますとのことなので、この事を

49会の来年の事業計画の一つに取り上げても良いのではなからうかと提案したい。

台湾学員の応援と、桜花舞う台湾を夢見ながら、台湾の植樹祭についてみようではありませんか。

永六輔さんも「待ってました」とご推薦

# 名セリフの力

—日本語をきたえる76のことば—

NHKエグゼクティブ・アナウンサー 葛西聖司 著

「知らざア言って聞かせやしょう」「お若えの、お待ちなせえ」……誰でも知っている名セリフから、日本語の豊かな表現力を学び、会話力を強くする。

四六判上製 278頁 定価1780円(税込)

展望社 東京都文京区小石川3-1-7 ☎03-3814-1997 FAX 03-3814-3063



# 楽<sup>ら</sup>苦<sup>く</sup>我<sup>が</sup>喜<sup>き</sup>三溝 芳春 (経済)

白門を卒業して30年。長かったようでもあり、あつと言う間に過ぎた感もある。特に50歳を過ぎてからは、時間の過ぎ去る(1日、1月、1年)のがとても早く感じてしまう。

何故このように感じるのか、自分なり反省を含め自問自答してみると、毎日の生活の中で、物事に対し「感動」「執着」「刺激」という部分が欠如しつつあるのではないかと思わざるを得ない。

学生時代は、本を読んだり、友と話したり、何事にも興味が湧き刺激を持って感受できたものであった。

最近では、日常発生する様々な事柄に対し、これまでの人生で通じた知識・経験に基づき、余り時間を掛けず、素早く対応・判断してしまふ。この事が「時間の過ぎるのが早い」という感覚になっているのだと思う。

まさしく、昨年ベストセラーとなった、養老孟司氏の「バカの壁」で指摘されている現象ではないかと反省している次第である。

これからの人生はまだ30年有る。新たな第一の人生の再スタートを、一に「健康」、二に「感動」の気構えで生きていこうと思う。近頃様々な「○○会」の誘いが多くなってきたが、数ある会の中でも「49年白門会」は、今後も参加するつもりであり、もつと一年が長く感じられるよう素晴らしい会にしたいと思います。

## 編集 後記

### 男の手料理?

この会報も第8号となり設立から満4年になる。5月の連休明けは、皆さんにお願いしている本号原稿の締切りなので、休みを利用して纏めていただいた方もおられるだろう。今年5日間通しの休みが続く大型連休だが、今日は既に5月4日、明日で休みも終わる。何処へも行かず、自宅ではんびりしながら過ごした休みだった。

## 会費の納入についてのお願い

中央大学49年白門会会計担当

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

①郵便振替 (手数料は不要です)

振替口座番号 「00180-3-196081」

口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)

銀行名 東京三菱銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」

口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

### 49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、メールアドレスの登録、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の投稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会副会長 宮川 保

中央大学学員会事務局 電話 03-3219-6175

FAX 03-3219-6177

## 平成16年度の会費納入のお願い

「49年白門会」は7月より5年目に入ります。この会は皆様の会費によって運営されており。

連休の出だしは好天だったが、昨夜は強風が吹き荒れ、怪しい雲行きになってきた。妻は実家へ法事の打ち合わせに出かけ、娘は糸の切れた風状態。今日は私一人である。こんな日は最近興味を持ち始めた料理を作ってみようと、近くのスーパーへ買い出しに出かけた。とはいえず、私にできる料理は簡単なものに限られている。材料を買い込み、レ

7月の総会時に平成16年度の会費3千円を徴収させていただきます。出席なされなかった方は、郵便振替が銀行振込みでの納入をお願い致します。これからの活発な会の運営のためにも、皆様のご協力をお願い致します。(会計部)

シビを開いて、缶ビールを傾けながら孤軍奮闘の3時間。完成した豚丼、サラダ、吸い物が食卓を豪華に飾った。妻も娘も時を合わせたように戻り、夕食の始まりである。少し薄めの味にも「おいしい」との評価をもらい、娘の「いくらかかったの」の問いには「3人前で5千円」とは言えず、お茶で飲み込んだ。(原 伸正)

## 原稿募集

次号は「腕に覚えあり」というテーマで皆様の原稿を募集します。仕事、趣味、生き方等の「覚え」を400字前後で事務局までにお送りください。締め切りは10月末です。

### 友へのメッセージの答え

- ①かげん・かこん②きぼね・きこつ③ぎゆうしゃ・ぎつしゃ④こうず・こうじ⑤しんしよう・しんじょう⑥せ(し) ころ・せぎょう⑦ぞくめい・ぞくみょう⑧らいはい・れいはい⑨まつき・まつ⑩むおん・ぶいん

## 電気設備・設計施工 FUNAMI

栃木県庁 宇都宮市役所指定 関東一円

株式会社 船見組

代表取締役社長 船見 二三男

〒320-0014

栃木県宇都宮市大曾5丁目3番6号

TEL 028-622-0321 (代)

FAX 028-624-4499